

令和6年度(2024)市長施政方針

所信

昨年5月には、3年以上の長きにわたり猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられ、これまで感染リスクを考慮して開催できなかった各種行事などが再開したことで、観光地をはじめ市内各所に賑わいが戻ってきました。昨年の観光入込客数はコロナ禍前とほぼ同様の約1,200万人まで回復し、宿泊者数は80万人を超え、過去最高となりました。

さて、来たる新年度は、新出雲市が誕生してから20周年の記念すべき年であります。式典をはじめ、さまざまな記念事業等を実施し、市民の皆さまと想いを共有して、次へのステップにつなげていきたいと考えています。

4月には、かねてから建設を進めてきた出雲市総合体育館「出雲だんだんととアリーナ」がオープンし、スポーツと健康づくりの拠点として多くの方にご利用いただきたいと思います。

また、山陰道については、「出雲・湖陵道路」「湖陵・多伎道路」が新年度に開通する見込みとなりました。これにより県東部が全線開通し、観光や物流など地域経済の活性化、緊急時の路線確保など、大きな効果が期待されるところであります。

先般、国立社会保障・人口問題研究所が、最新の将来人口推計を公表しました。2030年時点の本市の人口は、約16万6千人余りとなる推計が示されましたが、出雲市総合振興計画「出雲新話2030」に示す目標人口17万人台キープをめざし、「出雲力」をフルに活用したまちづくりを進めてまいります。

そのため、雇用の場や働く人材の確保、移住・定住対策、結婚から子育てまでの切れ目のない支援に加え、官民が連携した地域課題の解決、中山間地域振興や脱炭素社会の実現、デジタル化の推進など、各種施策をしっかりと「前へ」進め、「出雲力で夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまち」の将来像の実現に向けて、まい進してまいります。



市政運営のポイント

1. 活気あふれる地域経済への基盤強化と官民連携の更なる推進

- ・10年後の農地利用の姿を明確化する「地域計画・目標地図」の策定
- ・伐採による青空と再造林による緑のサイクルをイメージした「いずもの森ブルースカイ・グリーン計画」をまとめ、「攻めの林業」へ転換
- ・出雲斐川インター企業団地の令和7年度の完成をめざし、企業誘致活動を強力に推進
- ・市西部地域における新たな工業団地を検討
- ・「中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議」を中心に、境港出雲道路の早期事業化を国・県に強く要望
- ・官民連携のもと、出雲市版デジタル地域通貨の導入を検討
- ・官民が連携して、持続可能な地域公共交通を構築していくための中間支援組織「(仮称)MMOいずも」の設置を検討

2. 移住・定住の推進、交流人口・関係人口の拡大と中山間地域振興

- ・若者を対象とした交流会を東京圏で開催するなど、移住・定住を推進
- ・地域と一体となったエリアごとの取組の方向性を含む新たな観光基本計画を策定
- ・広島・出雲間の高速バスの外国人観光客割引を実施するなど、山陽・近畿からの来訪促進を強化
- ・自転車活用推進計画を策定し、シェアサイクルの導入実験やサイクリングロードの検討・整備に着手
- ・企業や団体と連携し、中山間地域の人材が不足している分野に後継者候補としての地域おこし協力隊員を配置

3. ハード・ソフト両面による安全・安心なまちづくり

- ・能登半島地震を教訓として、現在の防災体制を再確認し、対応力を強化
- ・地区災害対策本部の防災訓練や独自の情報発信などへの支援強化やコミュニティセンター等への分散備蓄
- ・国・県と連携した流域治水対策の取組、市街地の浸水対策として今市および塩冶地区の対策工事を実施
- ・国の新たな交付金を活用し、生活環境道路改良事業を拡充

4. 子育てにやさしい選ばれるまちづくり

- ・子どもの意見を反映した「出雲市こども計画」を策定し、各ライフステージにおける切れ目のない総合的な支援の取組
- ・子ども医療費助成の高校生年代まで対象年齢の引上げを検討
- ・雇用の場の確保や働きやすい職場環境、ワーク・ライフ・バランスの推進、子どもたちの教育環境の充実など、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくり

5. デジタルファーストを実感できるまちづくり

- ・マイナンバーカードを活用した行政手続の窓口改革プロジェクトを推進
- ・オンライン申請が可能な「窓口に行かなくてよい」改革の開始と「待たなくてよい」「申請書を書かなくてよい」改革の準備
- ・民間企業とIT企業が交流できる機会を設け、民間事業者のDXを促進

6. 未来に向けた環境にやさしく持続可能なまちづくり

- ・2050年CO₂排出実質ゼロの「脱炭素のまち出雲」の実現に向けて取組を更に強化
- ・民間事業所の太陽光発電、蓄電池など設備導入や個人住宅のゼロ・エネルギー・ハウス化への支援
- ・ペロブスカイト太陽電池などの先進技術の公共施設導入の可能性を検討
- ・「出雲市トキによるまちづくり構想・アクションプラン2025」を策定し、トキの放鳥・野生復帰に向けた施策を推進



ともにも創る

海・山・大地の恵みを生かす

- ◆平野部や中山間地域など栽培環境に適したスマート農業技術の更なる普及
- ◆アグリビジネススクールによる就農支援、集落営農組織や認定農業者に対する後継者育成や経営継承の支援強化
- ◆農福連携の推進や短期アルバイトの活用促進による農繁期の労働力確保
- ◆水産業の担い手の確保・育成や水産資源のブランド化の取組、内水面漁業の作業省力化等への支援

地場企業が地域を支える

- ◆中小企業信用保証料補助金の上限額の引上げや企業のデジタル化・省力化・省エネ化を重点的に支援
- ◆「NPO法人ミライビジネスいずも」等と連携し、創業・販路拡大、企業の人材育成・スキルアップなど新たなチャレンジを支援
- ◆地域課題に即した知見やDX等の提案を受ける「官民連携による地域課題解決検討プロジェクト」を実施

「人財力(じんざいりょく)」で地域産業を“前へ”

- ◆学生就職支援窓口の利用促進やいずも学生登録制度の高校生拡充で情報発信を強化
- ◆経済団体と連携したイクボス宣言登録企業の拡大
- ◆日本語の習得支援やメンター制度の導入で外国人住民の就職を支援
- ◆IT企業スタートアップ支援施設「Izumonomad (イズモノマド)」を拠点とした高度IT人材の確保や企業誘致など



Izumonomad開所式



ともにも守る

誰もが「安全・安心」に暮らせるまちに

- ◆地区災害対策本部や福祉事業者と連携し、避難行動要支援者の個別避難計画の作成を推進
- ◆斐伊川・神戸川治水事業の大橋川改修の推進、斐伊川本川堤防や宍道湖西岸堤防の整備、神戸川下流域の地盤沈下対策工事の推進などを国へ要望
- ◆新内藤川など河川改修の推進を県へ要望
- ◆市の補助事業により除却された空き家の土地の固定資産税等を減額する特例措置を実施

未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ

- ◆「いずも縁結び電力株式会社」と連携し、市が所有しないPPAモデル事業による公共施設への太陽光発電設備の導入
- ◆脱炭素につながる豊かで環境にやさしい暮らしをめざす「デコ活」の普及や食品ロス削減の取組
- ◆海洋ごみへの対応や宍道湖・神西湖・河川の水環境や水辺環境の保全などの取組
- ◆森林のCO₂吸収効果によるJ-クレジット認証
- ◆出雲環境センターの今後のあり方や不燃ごみ処理施設の次期施設整備について検討
- ◆トキの放鳥・野生復帰の機運醸成に向け、トキの近似種とふれあえる施設を愛宕山公園に整備



写真提供：環境省



ともにも結ぶ

期待(来たい)が膨らむ観光のまち出雲

- ◆宿泊施設等の高付加価値化の推進や各エリアの魅力向上・来訪促進を官民連携で取り組む(具体的施策)
 - ▶ 地域資源を生かした体験コンテンツの造成を支援し、予約サイトで販売
 - ▶ 日本遺産「日が沈む聖地出雲」のエリア全体でのツアー造成など、民間事業の活性化を推進
 - ▶ 神在月の発信強化や周遊マップ作成、観光客のデータ分析、ピーク時の出雲大社周辺の交通渋滞対策を検討

「住みたい」、「住み続けたい」の縁結び

- ◆県外から移住する独身女性や新婚・子育て世帯への家賃等の助成、東京圏からの移住支援
- ◆「メタバース婚活」や出会いの場イベント等の開催による結婚支援

ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ

- ◆ベトナム国際チャーター便や中部国際空港定期便の就航、静岡線の復活を契機に、「21世紀出雲空港整備利用促進協議会」を中心に出雲縁結び空港の各路線の更なる利用促進に努め、空港利用者100万人をめざす
- ◆空港の機能強化について、周辺住民の生活環境に配慮しながら関係機関へ働きかけ

あのまち・このまち 出雲を結ぶ

- ◆中海・宍道湖・大山圏域市長会による観光、産業および環境分野を柱にした取組や台湾、インドとの経済交流を推進
- ◆津山市および諫早市の友好交流都市の児童とのオンライン交流等の実施に向けて協議
- ◆海外の姉妹都市への中高生の親善訪問事業を再開

いにしへの「財(たから)」を守り、活かす

- ◆国の重要文化財「旧大社^{ほんや}本屋」の令和7年の保存修理工事完了に合わせた新たな周遊観光拠点として整備・検討
- ◆令和7年からの須佐神社の遷宮に向けた本殿の保存修理事業に対する支援
- ◆旧海軍大社基地関連施設群の全体像を把握するための総合調査に着手



道の駅 キララ多伎



ともに支える

「産みたい」「育てたい」を応援

- ◆定員増を伴う保育所の増改築補助や慣らし保育の利用期間の拡充
- ◆保育所・幼稚園等で支援が必要な子どもや外国籍児童の受入支援や発達に関する相談支援
- ◆市設置の児童クラブ整備や職員確保による受入体制の充実
- ◆「出雲市こども家庭センター」の設置により妊産婦、子ども、子育て世帯への相談支援体制を強化し、ヤングケアラーなど困難を抱える児童や家庭への支援を充実

地域特性を生かして安心な医療を

- ◆総合医療センターのリハビリテーション提供体制の強化、在宅医療の推進、健診・人間ドックの拡充

地域とともに持続可能な中山間地域を

- ◆地域の未来像となる「まちづくりビジョン」の作成支援
- ◆スマート農業技術を活用した省力化や花木栽培、ビオトープなど新たな農地管理に関する調査・研究活動
- ◆除草作業を行う地域住民ボランティア活動への支援拡充、路肩の防草対策、農地法面の防草シートの普及推進や集落応援隊の持続可能なあり方を検討



鯉のぼり掲揚式

いつまでも元気、ずっと現役で

- ◆複数のがん検診を一度に受けられるセットがん検診を充実
- ◆シルバー人材センターによる就労支援や地域福祉を支えるサポーター養成講座を実施

誰もが大切にされる社会をめざして

- ◆同和問題をはじめ、あらゆる人権課題の解決に向けた教育や啓発の取組
- ◆中学校・高校でDV防止対策の出前講座を開催
- ◆第3期出雲市多文化共生推進プランを策定

ぬくもりのある福祉サービスを

- ◆障がい者への相談支援体制の充実や就労支援、各種サービスの利用促進の取組
- ◆高齢者介護サービスの基盤整備、介護予防・日常生活支援総合事業の拡充と中山間地域の訪問介護サービス等を推進
- ◆市内医療機関・介護施設等の情報をウェブで検索できるシステムを官民連携で構築

出雲のインフラを整え「安心」を支える

- ◆都市計画マスタープランの全体構想・地域別構想を策定
- ◆街路や幹線市道整備10か年計画に基づく道路の整備
- ◆平田行政センター多目的棟、斐川行政センター庁舎棟の整備
- ◆バス、タクシーの運転免許取得費支援やUIターン者対象の就業体験の取組



湖陵インターチェンジ（仮称）付近



ともに育む

家庭・地域・学校で育む出雲の教育を

- ◆ICTを効果的に活用した授業改善
- ◆地域学校協働活動推進員の配置拡大で家庭・地域・学校の連携・協働を強化しふるさと教育を一層推進
- ◆高校生と地域をつなぐ仕組みづくりを検討
- ◆特別支援教育におけるきめ細やかな支援
- ◆全中学校へ不登校相談員を配置
- ◆中学校部活動の地域移行を検討
- ◆耐震化対策：今市小学校北校舎、大津小学校屋内運動場の改築工事
- ◆老朽化対策：四絡小学校屋内運動場、長浜小学校東校舎改築の調査業務に着手
- ◆教室不足対策：西野小学校の増築実施設計、荘原小学校の改修工事
- ◆熱中症対策：中学校の特別教室へのエアコン整備
- ◆学校再編統合：旅伏小学校の建築工事、須佐および窪田小学校の統合準備と特色ある学校づくりの調査研究

人が地域を、地域が人を育てる

- ◆自治協会とコミュニティセンターの業務の負担軽減に向けた検討
- ◆コミュニティセンター職員の処遇改善への見直し検討
- ◆地域と連携した自治会の加入促進
- ◆市民のボランティア活動や市民団体の地域課題解決を図る活動を支援



出雲市フレンドシップ事業

出雲力で 夢☆未来へつなげ



ともに
楽しむ



芸術文化で豊かな出雲を

- ◆出雲総合芸術文化祭の開催や出雲芸術アカデミー等の活動を通じた芸術文化の振興
- ◆出雲ドームかみあり吹奏楽フェスタの開催など「音楽のまち出雲」を推進

スポーツで元気な出雲を

- ◆令和7年のインターハイ、令和12年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた準備
- ◆女子プロサッカーリーグ参入をめざす「ディオッサ出雲FC」への支援

誰もの「学びたい」を実現

- ◆市内7図書館のネットワークを生かした特色ある展示や講座
- ◆出雲中央図書館開館40周年記念事業

出雲の魅力、発信します

- ◆「縁結びデジタルプロモーション事業」による就職、観光、特産品などの積極的な情報発信
- ◆「日本の心のふるさと出雲」応援寄附事業の魅力ある返礼品拡充や寄附受付サイトの追加



行財政改革、組織・機構の改革

- ◆令和6年度を初年度とする
「第3次出雲市行財政改革大綱と実施計画」を策定
- ◆消防本部における緊急通報対応を強化するため
「指令課」を「情報指令課」に改変
- ◆令和7年のインターハイ、令和12年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向け、文化スポーツ課の体制を強化



令和6年度当初予算の概要

- ◆一般会計の総額897億7,000万円。学校統合や教育施設の耐震化、道路に係る整備費の増などにより、令和5年度当初予算と比較すると、0.5%の増
- ◆特別会計の総額421億円。国民健康保険事業および後期高齢者医療事業における保険給付費や負担金の増などにより、対前年度1.7%の増
- ◆一般会計と特別会計の当初予算総額は、1,318億7,000万円で、対前年度0.9%の増

結び



令和6年度市長施政方針の全文はこちらをご覧ください。▶



本年は、^{このまつ}「甲辰」の年であり、これまで努力してきたことが、実を結んで成就する年になるといわれています。また、更なる努力によって成功にスピード感を持って近づける年でもあります。

先に述べた施政方針の各施策に全身全霊で取り組み、若者の夢がかなえられる、誰もが生き生きと活躍できる、そしてどこに住んでいても安全、安心に暮らせるまちづくりを推進してまいります。

出雲は、^{いにしえ}古の時代から「神在月」「日が沈む聖地」といった特別な聖地として人々の心に深く刻まれてきました。人との出会いや、あらゆる人々や物事、場所とのつながりを「ご縁」として大切にする文化や習慣は現代に生きる私たちにも受け継がれています。

私は、こうしたさまざまな「ご縁」を大切にするにより、人々や企業が集まり、出会いや交流が生まれ、地域の活性化につながるものと信じています。

新年度は、合併によって出雲市が誕生してから20周年の節目の年となります。7つの市町が「ご縁」によって合併し、一つのまちになりました。これまで、本市の発展にご尽力いただきました皆さまに、あらためて感謝を申し上げます。

この20周年の節目に、もう一度原点に立ち返り、「縁結びのまち」という出雲の強みを最大限に発揮し、次の輝かしい未来に向けて市政を「前へ」推し進めてまいります。